

復職支援研修における標準プログラム

コース	1日	5日	7日(看護師)
プログラム	講義・院内見学を主とする	技術・演習を主とする	病棟内の見学実習を主とする
	いずれ再就業したいと考えている方	再就業に向けて準備したいと考えている方	すぐにも再就業したいと考えている方

1 日 目	AM	オリエンテーション・交流会・ナースバンク関係書類の記入・病院見学等
	PM	講義:最近の医療・看護の動向、医療安全、感染管理等 再就業支援相談
2 日 目	AM	《研修内容》 1. 採血・輸液と静脈注射・筋肉、皮下注射・血糖測定 講義:看護手順に基づいた実施内容の確認 演習:薬剤処方箋、指示簿の確認、物品の準備、患者確認、刺入部位・角度の確認 針とルートの固定方法、滴下数の合わせ方、輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱い 2. 看護観察 フィジカルアセスメント、長谷川式評価スケール・転倒転落アセスメントについて 講義: DVD視聴 演習:フィジカルアセスメントの実際、バイタルサイン・Spo2測定 3. 体位変換と移乗 講義 演習:体位変換、起き上がり、車いすへの移乗、スライディングボードを使用したストレッチャーへの移乗
	PM	4. 薬の知識 講義 5. AEDの取り扱い 講義 演習:心肺蘇生トレーニング用マネキンを使用した実際
3 日 目	AM	《指導体制・方法》 1. 研修生4名に対し、1名の指導者を配置 2. 準備 装着式 採血静脈練習キット、心肺蘇生トレーニング用マネキン、輸液ポンプ・シリンジポンプ、注射類 車いす、ストレッチャー、スライディングボード、その他各演習に必要な物品
	PM	3. デモンストレーション グループ毎もしくは全体で準備から終了まで 4. 所要時間
4 日 目	AM	《病棟実習》 1. 病棟オリエンテーション 構造・特徴、スタッフ紹介、診療科・患者紹介 2. 援助の実践 環境整備・リネン、バイタルサイン測定、体位変換、移乗・移送、清潔援助(清拭、口腔ケア、足浴等) 食事の援助、排泄の介助 3. カンファレンス参加 カンファレンス終了後も時間があれば病棟実習
	PM	《指導体制・方法》 1. 研修担当者がオリエンテーション実施 2. 指導看護師に付いて一緒に援助を行う 3. 侵襲を伴う処置は見学 *1名の研修生に1名の指導者を配置 *援助の際は、必ず患者に了承を得る *病院所属の看護師の指導のもとで行う
5 日 目	AM	交流会
	PM	交流会・再就業支援相談
6 日 目	AM	病棟実習 指導体制・方法は上記に準ずる
	PM	
7 日 目	AM	病棟実習 指導体制は上記に準ずる 実習の振り返り
	PM	合同で交流会 再就業支援相談